

世界に翔く宮崎牛

2001年7月号

No.30



●子牛を早期に出荷しよう！
(小林地域家畜市場セリ風景・本誌3P)



●現場密着の指導活動が評価され表彰された肉用牛指導者の皆さん（都合により川田洋一氏欠席）（本誌4P）



●和牛改良に貢献した種雄牛の碑と顕彰像が改良事業団に建立
(本誌4P)

21世紀の「宮崎牛」はどうか！

～繁殖牛飼養者アンケート調査事業報告書～
宮崎県における黒毛和種繁殖雌牛飼養農家の
概況及び今後の経営意向



平成13年3月
宮崎県農政水産部畜産課
(社)宮崎県肉用子牛価格安定基金協会

●21世紀の「宮崎牛」はどうか！（繁殖牛飼養者アンケート調査事業報告書から・本誌2P）

7月号 目次

●地域情報	21世紀の「宮崎牛」はどうか！ from.県畜産課&子牛基金協会	2
	～繁殖牛飼養アンケート調査事業報告書から～	
	子牛を早期に出荷しよう！～西諸県部の取り組み～ from.畜産会	3
	肉用牛指導者表彰が行われる～現場密着の指導活動を評価～ from.畜産会	4
	よってみらんね きてみらんね 事業団 from.家畜改良事業団	4
●事業紹介	各種補助事業等の活用により、肉用牛の増頭・改良を図りましょう from.県畜産課	5
	県内肥育牛出荷者の皆様へ～新マル繁事業～ from.畜産会	6
●技術紹介	子牛を1頭もらっちゃおう！～超早期母子分離技術の紹介～ from.経済連	7
●価格情報	枝肉出荷状況（平成12年度・和牛） from.経済連	7
●今後の行事予定（登録検査日程・子牛セリ日程）	from.家畜登録協会	8

情報誌「世界に翔く宮崎牛」発行協賛団体

●宮崎県経済農業協同組合連合会 ●宮崎県肉用子牛価格安定基金協会 ●宮崎県家畜改良事業団 ●宮崎県家畜登録協会 ●宮崎県畜産会

地域情報

21世紀の「宮崎牛」はどくなる!

～繁殖牛飼養者アンケート調査がまとまる～

県畜産課と県肉用子牛価格安定基金協会では、5年毎に肉用牛繁殖経営の現状、今後の経営意向、関係機関への要望等を把握するため、県内全戸（約15,000戸）の生産者を対象として、アンケート調査を実施しています。今回、配布・回収時期が口蹄疫の最中ではありましたが、約半数の皆様方の貴重な御意見を頂戴しましたので、標題にあります「21世紀の宮崎牛はどくなる」と題して、まとめることができました。今後、本誌を活用して、アンケート結果をフィードバックしていくことと致しますので、生産者の皆様におかれましては、御確認いただくとともに、関係機関におかれましては、生産者ニーズに合った指導、施策の展開方よろしくお願ひします。なお、調査結果については、市町村、農協等の関係機関に配布しております。

● **結果の概要** ● 第1段 生産者の現状（平均年齢、飼養頭数等）

① **回収率** 54.2% (8,129戸/約15,000戸)

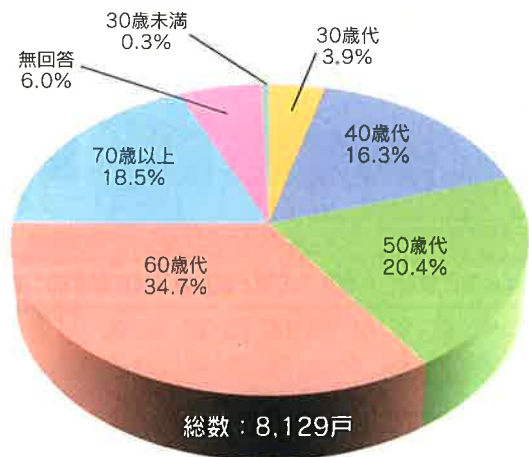
② **平均年齢等** 59.4歳

※60歳以上の割合は**53.2%**を占めています。
特に山間地域では60.2%と高くなっています。

経営主の年齢別農家数（実数）



経営主の年齢別農家数（構成比）



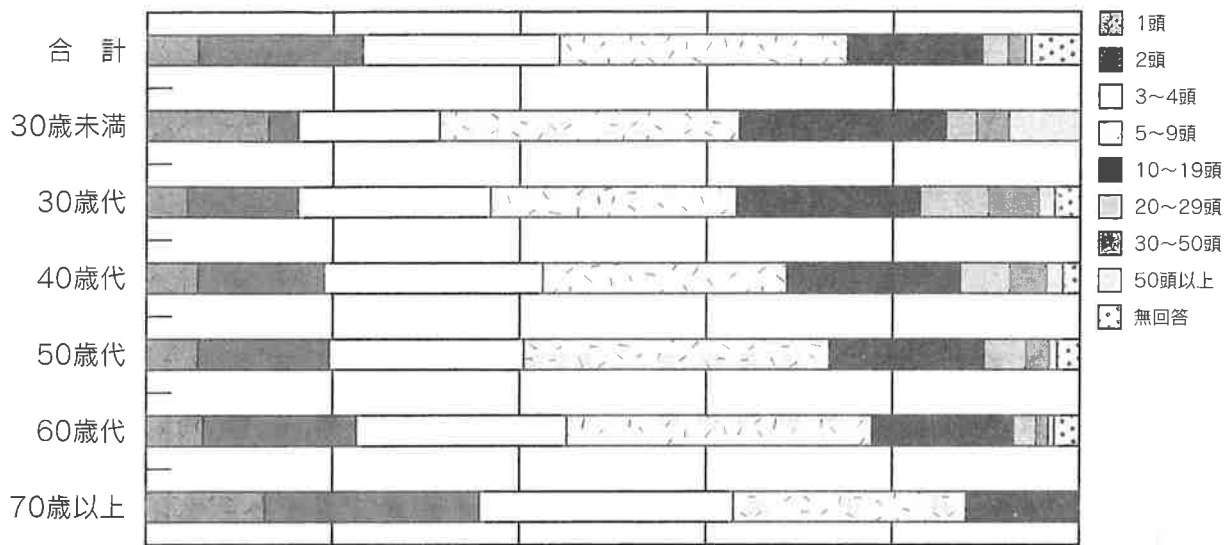
地域別、経営主年齢別農家数

(上段：実数/下段：%)

	合計	30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
合計	8,129	26	316	1,321	1,655	2,820	1,504	487
	100.0	0.3	3.9	16.3	20.4	34.7	18.5	6.0
山間地域	2,143	9	74	263	375	809	480	133
	100.0	0.4	3.5	12.3	17.5	37.8	22.4	6.2
中間地域	4,003	8	136	652	830	1,407	736	234
	100.0	0.2	3.4	16.3	20.7	35.1	18.4	5.8
平地地域	1,983	9	106	406	450	604	288	120
	100.0	0.5	5.3	20.5	22.7	30.5	14.5	6.1

3 平均飼養頭数 7.2頭（繁殖牛）

※5頭未満の小規模農家が全体の46.6%を占めています。



子牛を早期に出荷しよう！

～西諸県郡の取り組み～

西諸県郡市家畜改良支援対策協議会（事務局 西諸県郡市畜産販売農業協同組合連合会）では生産者、畜連、農協の協力による基金造成を行い、過肥を抑制し、低コスト生産を図るための子牛の早期出荷を推進する取り組みを行っている。併せて、育種価データの収集も行い、市場の有利販売と繁殖農家の経営安定及び規模拡大の支援を行っている。

支援内容

- 1** 産肉データ収集に関する支援（平成12年度分より実施）
 地元で肥育された産肉データをもとに育種価を選抜基準とした雌牛の保留を進めることで、より一層の産肉性の向上を図る。データバックした頭数に500円以内を乗じた額を各肥育部会に支援する。（但し、データは育種価数値に利用できるもの）
- 2** 老廃牛（高齢牛）の更新に伴う支援（平成13年1月より実施）
 高齢牛の更新を目的として、10才以上の母牛を更新するため小林市場より導入（保留）を行ったものについて、1頭あたり20,000円以内を交付する。
- 3** 早期出荷牛の購買者に対する支援（平成13年4月分より実施）
 生後日数270日以下（セリ当日）セリ市場に上場された去勢牛を対象牛に子牛購買者に対して、1頭当たり10,000円以内を交付する。
 実績については、下表のとおり

	地域家畜市場平均（去勢）				当該事業対象平均			
	頭数	日齢	体重	セリ価格（税込み）	頭数	日齢	体重	セリ価格（税込み）
H13.4月	772	291	308	444,075	94	259	304	471,740
5月	834	289	309	411,418	117	261	300	426,641
6月	722	289	312	415,337	136	262	307	427,165

肉用牛指導者表彰行われる

～現場密着の指導活動を評価～

県肉用牛協会（事務局 県畜産会）では、6月13日に行われた総会の席上、肉用牛飼養農家に対する指導に功労のあった肉用牛指導者の表彰を行った。これは肉用牛関係指導者の意欲を高揚し、生産の振興合理化に資することを目的として、低コスト生産及び生産拡大に顕著な功績をあげ、今後も現場に密着した指導活動が期待される者に対して行われるものである。

今回は8名の表彰が行われ、その栄誉を讃えた。



所属団体	職責	氏名
宮崎中央農業協同組合	畜産部指導課長補佐	日高 蔵 市
はまゆう農業協同組合	営農部日南営農センター	榮 義 信
都城農業協同組合	畜産部和牛生産課長	福丸 浩 一
小林市役所	畜産振興係長	大久津 和 幸
尾鈴農業協同組合川南支所	畜産課長	松浦 寿 勝
県北部農業共済組合延岡家畜診療所	所 長	奈須 祥 泰
高千穂地区農業協同組合	畜産部肥育課長補佐	藤原 和 昭
県家畜改良事業団	事業部長	川田 洋 一



よってみらんね きてみるね 事業団

当事業団では、国および県の助成を受け平成11年度より種雄牛舎の改築に着工し12年度末に完成しました。昭和48年事業団発足時に建設した種雄牛舎は28年にわたって牧歌的雰囲気のあるいわば事業団の象徴的な存在でもあったわけですが、損傷が著しく、南北に建設されていたため北側の種雄牛は衛生管理上あまり好ましい環境とは言えませんでした。今回建設した牛舎は10年度に完成した待機牛舎と同じく東西に立ち機能的な建物となっています。あわせて付属の飼料庫、堆肥舎、つなぎ場等建設し一新された環境となりました。さらに、当事業団には年間5000人から6000人ほどの視察、研修の方がいらっしゃいますが受け入れ施設がなく不自由をおかけしておりましたが、今回、60名から70名規模の研修施設の建設も行いました。今後、和牛農家・畜産関係者あるいは若い畜産後継者の方々に鮮度のよい質の高い畜産の情報を提供していきたいと考えております。あわせて資料館としての充実も図りたいと考えていますので和牛に関する資料、機材等ありましたらご連絡いただきたいと思います。



●新たに建設された研修施設

また、宮崎県は和牛の改良・増殖に対する先人のためまぬ研鑽と努力により、いまや名実ともに日本一の産地となりました。その功績を後世に伝えるため、そして宮崎県和牛界のシンボルとなるよう、関係者のご協力をいただき和牛改良に貢献した種雄牛の碑と顕彰像を建立し、去る5月12日に顕彰像の除幕と種雄牛舎と関連施設の落成式を行ったところです。

このような環境のもと安平をはじめ福桜・上福・照萩等の優秀種雄牛を健康的に管理し凍結精液を生産しています。さらに12年度に間接検定の終了した福之国、日向国といった若い高能力種雄牛についても期待が高まっています。

みなさまのご来団を心よりお待ちしております。

事業紹介

各種補助事業等の活用により、 肉用牛の増頭・改良を図りましょう

事業内容等

①優良雌子牛保留緊急対策事業

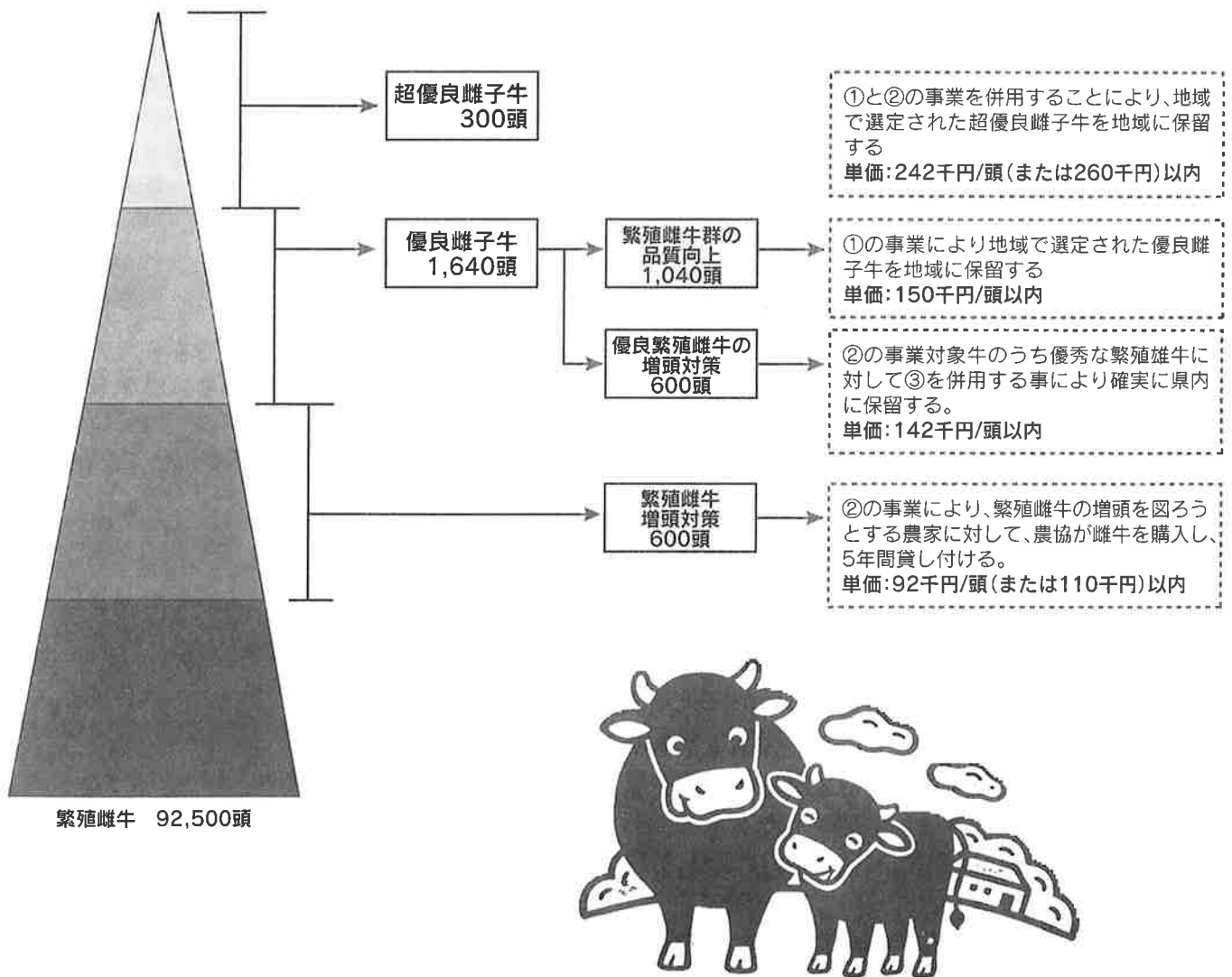
- ・本県の肉用牛改良のために必要な遺伝能力の高い雌牛を3年間保留する。
単価：150千円/頭

②家畜改良増殖対策事業

- ・経営内で優秀な雌牛の増頭を行うために必要な雌牛を農協が導入し、5年間貸し付ける。
単価：92千円/頭（水田導入の場合は110千円）

③優秀肉用牛県内一貫体制確立事業（優秀繁殖素牛導入事業）

- ・繁殖素牛として、地域の改良方針に沿った優良血統の子牛や、育種価に優れた雌牛を県内に保留する。
単価：50千円/頭



※事業内容等の細かい点につきましては、最寄りの西臼杵支庁、農林振興局又は畜産課までお問い合わせ下さい。

県内肥育牛出荷者の皆様へ

～肉用牛肥育経営安定対策事業（新マル緊）～

前号でも御紹介致しましたが、平成13年度よりマル緊事業は、生産者の皆さんからも積立金をいただく事業として新たにスタート致しました。

どこが変わるのか？

- ①補てんの仕組みは四半期毎に算定される推定所得が、家族労働費を下回った差額の最高8割までを補てんすることになります。
- ②算定については、従来の全国マル緊事業のように全国一律の算定ではなく、品種によって地域（各県）の実態に応じた形での算定となります。
- ③補てん対象は、四半期単位に出荷された牛毎になります。

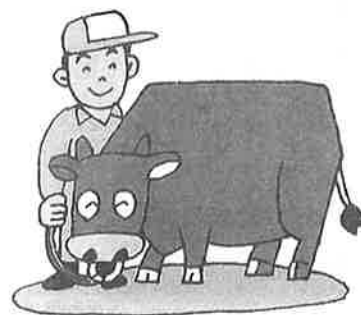
宮崎県における各品種毎の保険設計と生産者積立金額

品 種	基準家族労働費	最高補てん額	生産者積立額（内県助成額）
黒 毛 和 種	75,000	60,000	15,000（1,500）
交 雑 種（F1）	43,000	34,400	4,400（1,000）
乳 用 種（ホル）	35,000	28,000	3,600（1,000）

（単位：円／頭）

生産者の皆様方へのお願い

- ①新マル緊事業は3年間の事業で、経営内の肥育牛全頭を加入することとなりますので、ご了承ください。
- ②事業主体（宮崎県畜産会）と契約締結後に加入をやめた場合、事業期間中（～15年度）での再加入はできませんので、ご了承ください。
- ③契約締結後は、定められた期間までに、肥育牛1頭毎に個体登録申し込みを行うこととなります。
- ④肥育牛の定義は、現行のマル緊事業と変わらず、専ら肉量の増加を目的として、おおむね10カ月以上飼養されたものとなります。
- ⑤個体確認には、子牛基金の耳標を活用することとなりますので、セリ市導入後も切らずに、そのまま装着しておいてください。
- ⑥確認書類として、従来どおりの伝票（出荷等を証する）を整備・保管してください。
- ⑦生産者積立金の納入については、当分の間、出荷時を考えておりますので、各販売窓口（農協等）の指示に従ってください。
- ⑧事業実施期間終了後（15年度末）に基金残額がある場合は、生産者が積み立てた合計金額の比率により、皆様方に配分します。



技術紹介

『子牛をもう1頭もらっちゃおう』

11ヶ月1産を実現させる

超早期母子分離技術

分娩後3～7日で母牛から分離させて飼育・管理することにより、感染による下痢などの予防ができ、母牛の分娩間隔が通常8産するあいだに9産することができます。

超早期母子分離方式について

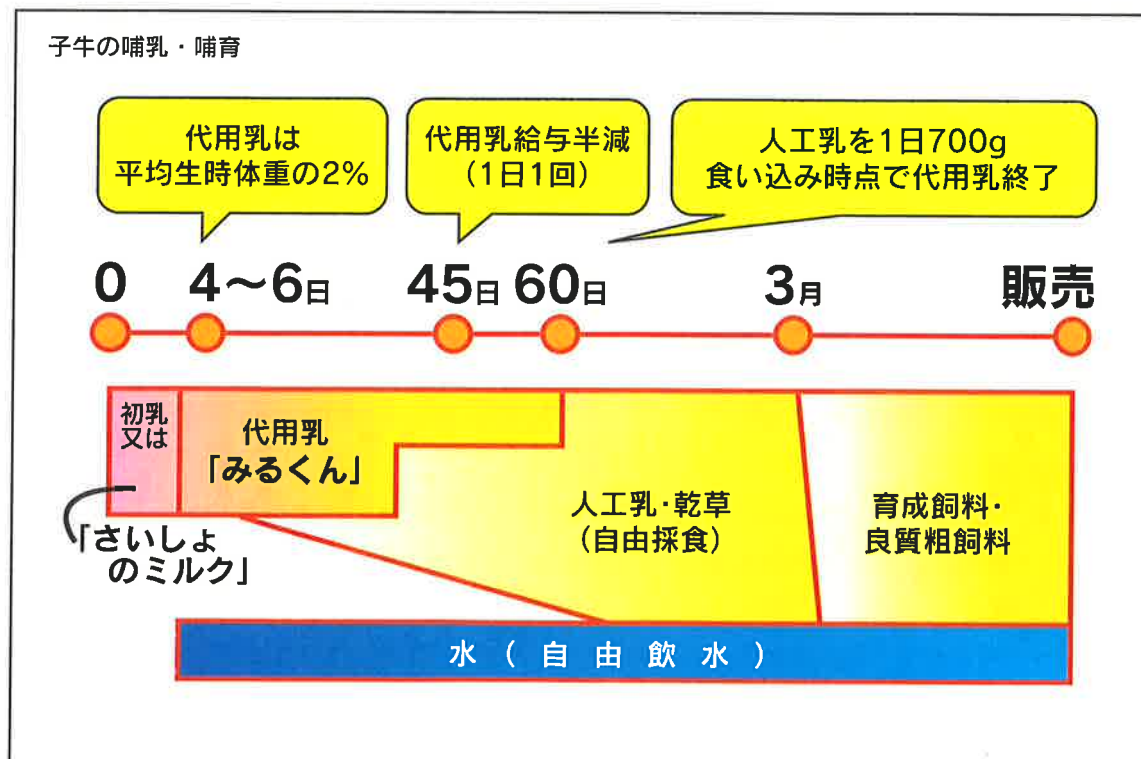
- 分娩直後に母牛と子牛を分離させて飼育・管理。
- 子牛は、カーフハッチやカーフケージで個別管理。
- 子牛は3ヶ月齢までは人工哺乳・哺育を行い、4ヶ月齢以降は育成期とし、胃袋づくり重視の飼養管理に心がける。
- 母牛舎では子牛を母牛と同居させない。
- 屋間に分娩させるために給餌は夕方一回とします。



超早期母子分離方式の効果

- 母牛は授乳しないので、ホルモンバランスが変わり、発情回帰が早くなることで分娩間隔が短くなり、11ヶ月1産の実現が可能になります。
- 子牛を個別管理するので、子牛どうしの感染が予防でき、下痢などの発生が減少し育成成績が向上。
- 授乳の増し飼いがいなくなるので母牛の栄養管理が単純化し作業能率が向上。
- 母牛を分離して飼育するので特に母牛舎の構造が簡素化できます。
- 子牛の哺乳・哺育作業は増加するが、子牛の疾病治療作業の減少と母牛の管理作業の省力化で全体としては大幅な省力化ができます。

詳しくは、最寄りのJA、経済連までお問い合わせ下さい。

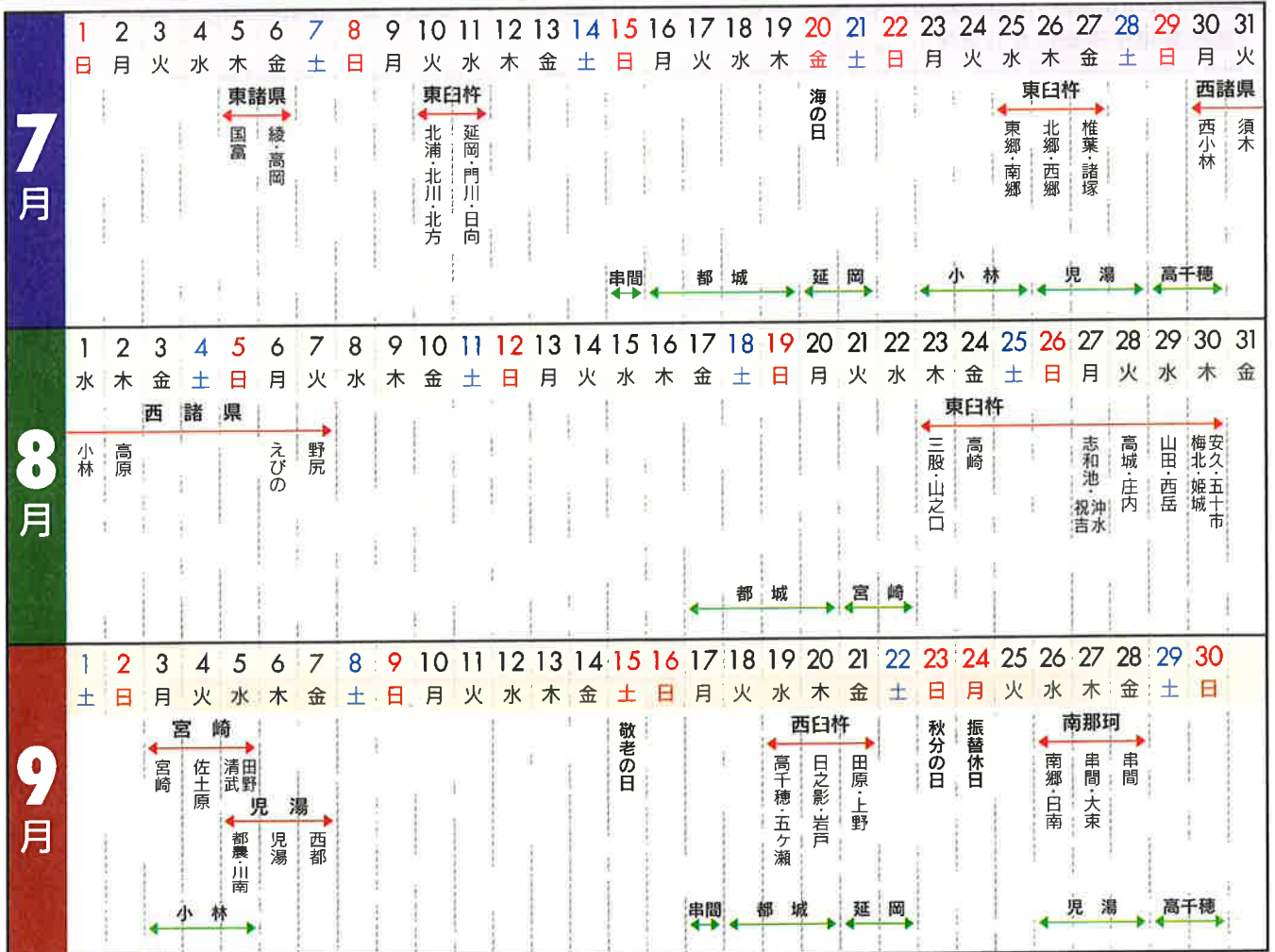


価格情報 平成12年度 枝肉出荷状況 (和牛)

		宮崎中央	綾	はまゆう	都城	こばやし	えびの市	児湯	尾鈴	西都	延岡	日向	高千穂	その他	全体
去	頭数	702	245	1,633	2,901	3,925	469	751	596	255	740	362	890	2,045	15,514
	枝重	407.8	420.0	441.2	419.6	430.5	430.0	415.4	417.9	427.2	426.3	423.9	432.8	415.6	424.9
	販売額	708.1	786.2	799.4	686.0	715.0	697.0	736.9	770.1	730.0	737.4	704.9	742.6	648.3	715.9
	上物率	60.5	77.2	69.0	49.7	48.5	48.8	52.8	68.4	57.6	64.7	57.0	59.1	39.5	53.4
雌	頭数	684	119	195	1,917	1,747	196	532	156	170	740	235	340	1,081	8,112
	枝重	373.2	378.4	373.9	371.9	378.5	371.4	355.8	385.7	386.1	390.6	387.6	402.3	376.0	377.1
	販売額	577.9	646.6	520.6	560.0	558.6	559.6	571.7	625.6	631.2	594.1	574.8	648.5	529.0	568.2
	上物率	42.8	60.5	26.6	38.8	32.3	36.2	35.3	52.0	48.2	47.0	32.8	50.0	27.6	37.6

単位：枝重 (kg)、販売額 (千円)、上物率 (%)

今後の行事予定 (7~9月)



発行所 宮崎県畜産会
0985-24-2674